

2月12日

## 半日入学で1年生が すばらしい姿を披露しました

午後からの半日入学で一年生がすばらしい姿を披露しました。全員で作りに上げた学校説明は参観した全ての人たちに、彼らの一年間の成長を印象づけたことでしょう。

特にすばらしいと感じたことは、一年生の毅然とした態度でした。マイクを片手に語る姿、ステージ上で寸劇を演じる姿、役目を終えてステージを降りる姿、そして、合唱を終えて余韻を漂わす姿。こういう姿こそ、先輩と呼ぶにふさわしいものでした。



なれなれしい態度や調子によっておどける様子、照れを抑えきれずきよろきよろする行動など、貫禄や威厳と言った言葉と縁遠い姿は皆無でした。これが中学校で学んできた成果だと思えます。合唱の素晴らしさ、語りの見事さなど、素晴らしい点はたくさんありますが、出来ばえ以上に態度の成長がとってはうれしいものでした。

こう考えると、中学の三年間って大きいですね。大人としての身のこなしや所作というのは、この三年間でしっかりと身に付けなければならないものだという気がします。このチャンスを逃すと、大人になっても毅然とした態度がとれない人間になってしまうのではないのでしょうか。

1年生の発表は、クラスごとに行われました。1年A組は「仲間づくり」、1年B組は「学習について」そして、1年C組は「主体性について」。どのク



ラスも工夫を凝らし、六年生の児童に中学校のことをよりよく理解してもらいという思いが伝わるものになっていました。先輩は、後輩の立場からものごとが考えられる立場の人物です。したがって、優しくなければなりません。しかし、近寄りがたく思える部分ももち合わせなくてはなりません。一見矛盾しているように思えるこの二つを三年間で身に付けてほしいものです。

最後に、学年合唱「COSMOS」を披露しました。